

令和7年度千葉市ニューファーマー育成研修業務委託に係る 企画提案（公募型プロポーザル方式）審査要領

1 目的

本要領は、令和7年度千葉市ニューファーマー育成研修業務委託に係る企画競争（公募型プロポーザル方式）に関し、優先交渉権者選考のため、令和7年度千葉市ニューファーマー育成研修業務委託選考委員会（以下「選考委員会」という。）における審査方法等を定める。

2 審査方法

（1）不適格事項の確認

企画提案書提出時において、募集要項に定める不適格事項に該当しないことについて、選考委員会事務局（発注所管課）（以下「事務局」という。）にて確認する。

（2）企画提案書等の審査

募集要項で定める評価項目等及び次の3評価基準に基づき、事務局及び選考委員会の選考委員が審査する。

ア 事務局審査

評価項目のうち「定量的事項」については事務局が提出書類の事前審査を行い、その結果を選考委員に報告する。

イ 選考委員審査

（ア）定量的事項の審査方法

選考委員は、事務局からの「定量的事項」に係る審査結果の報告を踏まえ、それぞれ評価、採点を行う。

（イ）定性的事項の審査方法

選考委員は、提出書類並びに選考委員会におけるプレゼンテーション及びヒアリングをもとに、それぞれ評価、採点を行う。

ウ 優先交渉権者等の決定

選考委員審査の得点の合計が一番高い提案者を優先交渉権者、その次に得点の高い提案者を次点者として決定する。

エ 留意事項

（ア）提案者が1者の場合も、審査を実施する。

（イ）選考委員全員の合計点が全体（委員全員が満点）の6割に満たない場合は、優先交渉権者等に選考しない（提案者が1者の場合を含む）。

（ウ）最高得点の提案者が複数あった場合は、評価項目のうち「研修生の推薦」の得点が高い提案者を優先交渉権者とする。

（エ）（ウ）の得点も同点の場合は、くじにより優先交渉権者を決定する。

（オ）次点者となる提案者が複数あった場合は、上記（ウ）、（エ）を準用し決定する。

3 評価基準

提出された企画提案書等は、以下により審査するものとする。

（1）応募者の実績（様式第5号）

事務局にて、次の判断基準等により採点するものとする。

評価の着眼点	判断基準	配点	配点 上限
本事業と同種又は類似業務実績	同種業務の実績を有する場合	2点/件	5
	類似業務の実績を有する場合	1点/件	

・ 同種業務

「公的機関が発注する、新規就農を目的とした研修の委託業務」とする。

・ 類似業務

「公的機関が発注又は自社が実施する研修業務を個別で実施する業務」とする。

(2) 担当チームの実績（様式第6号）

事務局にて、主任担当者とそれ以外の担当者に分けて、次の判断基準により採点するものとする。

評価の着眼点	判断基準	配点	配点 上限
主任担当者の同種又は類似業務実績	主任担当者の業務実績として記載された3件の業務を対象に、以下に応じて判断		5
	同種業務の実績を有する場合	2点/件	
	類似業務の実績を有する場合	1点/件	
担当者の同種又は類似業務実績	担当者の業務実績として記載された業務（2人、各2件）を対象に判断		5
	同種業務の実績を有する場合	2点/件	
	類似業務の実績を有する場合	1点/件	

・ 同種業務

「公的機関が発注する、新規就農を目的とした研修の委託業務」とする。

・ 類似業務

「公的機関が発注又は自社が実施する研修業務を個別で実施する業務」とする。

(3) 企画提案書（様式第7、8号及び任意様式）

選定委員が、次の判断基準により、それぞれ採点するものとする。

ア 業務実施方針及び実施体制、並びに工程（様式第7、8号）

評価の着眼点	判断基準	配点	配点 上限
業務実施方針・実施体制の的確性、実現性	非常に高いレベルでの業務遂行が可能	10	10
	高いレベルでの業務遂行が可能	8	
	業務遂行は可能	6	
	業務遂行の可能性が低い	4	
	業務遂行の可能性が極めて低い	2	
工程計画の的確性、実現性	実現可能性が非常に高い	10	10
	実現可能性が高い	8	
	実現可能性はある	6	
	実現可能性が低い	4	

	実現可能性が極めて低い	2	
--	-------------	---	--

(ア) 業務実施方針

- ・事業の目的や内容を正しく理解しているか。
- ・提案事業者が市と連携し正確かつ迅速に実施できる仕組みがあるか。

(イ) 実施体制

- ・事業を実施する当たり十分な体制がとられているか。
(例 災害をはじめとする緊急時の対応、拠点はどこか (①管理者、②コールセンター及び審査事務の従事者)、従事者 (①社員、②グループ会社の社員、③外注))
- ・繁忙期の対応は的確か。
(例 コールセンターや審査事務従事者を一時的に増員するなど効果的かつ即効性の対策が実施できるか。
(例 委託仕様書に定めた処理期限の遵守に努めるとともに、臨時職員を投入した際に既存の従事者と同等となるよう業務の質をどのように確保するのか。)

(ウ) 工程計画

- ・想定される業務を工程に反映するとともに、適切な時期に実施を見込んでいるか。
- ・申請受付はいつから開始できるか。

イ 事業提案 (任意様式)

評価項目	評価の着眼点	判断基準	配点	配点 上限
講師の評価	講師は、研修内容に関連した高い専門性を持ち、豊富な実績を有しているか。	非常に実績を有している	10	10
		十分な実績を有している	8	
		一定程度実績を有している	6	
		あまる効果的な実績を有していない	4	
		ほとんど実績を有していない	2	
講座の内容	講座の内容は、研修生にとって効果的な内容か。	非常に効果的な内容である	10	10
		十分効果的な内容である	8	
		一定程度効果的な内容である	6	
		あまる効果的な内容ではない	4	
		効果がほとんど期待できない	2	
研修計画の内容	研修計画は、研修生にとって効果的な内容か。	非常に効果的な内容である	10	10
		十分効果的な内容である	8	
		一定程度効果的な内容である	6	
		あまる効果的な内容ではない	4	
		効果がほとんど期待できない	2	
進捗管理・サポート	進捗管理や研修生へのサポート内容は、効果的であるか。	非常に効果的な手法である	10	10
		十分効果的な手法である	8	
		一定程度効果的な手法である	6	
		あまる効果的な手法ではない	4	
		効果がほとんど期待できない	2	
研修生確保に	研修生の確保が期待でき	非常に期待できる	15	15

向けた企画の実施及び研修生の推薦	る内容となっているか。 また、研修生の候補者は1人以上を推薦することになっているが、推薦は期待できるか。	十分に期待できる	1 2	
		一定程度期待できる	9	
		あまり期待できない	6	
		ほとんど期待できない	3	
全体事業コンセプト	プレゼンテーション及びヒアリングは、優れている内容か。	非常に優れている内容である	1 0	1 0
		十分優れている内容である	8	
		一定程度優れている内容である	6	
		優れている内容か判断できない	4	
		内容が優れていない	2	